

東日本大震災被災者の方々へ心よりお見舞い申し上げます

健康診断のすゝめ



岡 卓也氏

改善が進まない荷待ちや付帯作業の問題。背景に荷主の情報伝達不足、施設面の問題があるが、「ドライバーもサービスにかかる時間やコストの意識を高めるべき」と物流に詳しい日本能率協会コンサルティングの岡卓也氏。解決には、会社がドライバーの業務範囲を明確にすることも必要になりそうだ。(文責・小林 孝博)

荷主庭先のムダをなくす

ドライバーの負担を軽減するため、荷主が本来行わなければならないのは「車上渡し」。貨物もばら積みでなく、パレット化することが基本だ。さらに「時間指定」も重要。指定時間に、ドライバーがすぐ荷物を積み込める環境を整えなければならぬ。



業務範囲の明確化、鍵に

中編

「サービスにどのくらい時間やコストがかかっているか」の意識が高いとはいえない。だから、会社が荷待ちや無償作業の時間を明確にし、人件費が收受できていない実態を教えることが重要になるだろう。中小事業者ほどドライバーのコントロールを十分できていないことも、現場の実態とこまで把握？

現場の実態とこまで把握？
現場の実態とこまで把握？
現場の実態とこまで把握？

現場の実態とこまで把握？
現場の実態とこまで把握？
現場の実態とこまで把握？

岡 卓也氏(おか・たくや) 昭和48年3月15日生まれ、42歳。大阪府出身。法大法律。平成18年日本能率協会コンサルティング入社。以来、一貫して生産・ロジスティクス領域でのコンサルティング、セミナー、研修講師として第一線で活躍。